



成果指標				
成果指標	決算額÷予算額×100			
指標設定の考え方	予算額100%に対し、決算額の割合を減らすことでコスト縮減率を読み取れる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	90%	90%	0	0
実 績	93.5%	73.1%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設の経年劣化により、維持費が増加することが懸念される。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	第一種漁港である森漁港の維持管理に係る業務経費であり、施設の経年劣化により今後維持管理費が増加することから、施設の補修計画を立て効率的な維持管理に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題